

元こ & ひーす 大

2011

# Actio 8

定価 525円 (税別)

## 原発事故は 最悪の公害

アイリーン・美緒子・スミス◎民主主義の機能不全が招いた原発事故  
宮本憲一◎経済成長優先が生み出した公害と原発事故  
編集部◎イタイイタイ病との闘いから何を学ぶのか



気になる Shop

25

## 人とモノを通して 人と人とを繋げていく

雑貨・カフェ ビレッジ



目を凝めながら読む手作りの梅ジュースが石動め

静岡県掛川市内の人里離れた場所にある雑貨カフェ「ビレッジ」。もともとお寺だった古民家を利用しただけあり、佇まいのある古い門をくくると、気持ちのいい庭が広がる。玄関には、東日本大震災支援の募金箱、イベントなどのお知らせが所狭しと置いてある。店内で売っているのは、アジアを中心とするフェアトレードの洋服、雑貨、近隣の作家の人たちが作ったアクセサリーや手工芸品、古物、オーガニックのハーブティーなど。どれもオーナーのちさとさんが人との繋がりを大切に選んでいる。

お店は全て畳の部屋だ。個室も



かつてお寺だったことを物語る門構え

あり、ヨガ教室や美会話教室が開かれることもある。週末は庭でフリーマーケットが開かれ、タイムマッサージのお店も出店する。

私は昨年夏から掛川市に住んでいるが、実はつい最近まで地元のことにはあまり関心がなかった。それが変わったのは福島第一原発事故後、浜岡原発の危険性に気付いてからだ。

掛川市は浜岡原発20キロ圏内にある。浜岡原発の問題に関心を持ち行動を始めた遠藤、地元の人たちとの付き合いが始まった。ここはそんな地元の人に紹介されたお店で、目下私の一番のお気に入り場所だ。



オーナーのお気に入りコーナー

カフェのメニューは飲み物と障がい者施設で作られる焼き菓子のみ。私のお勧めは、縁側に座って飲むちさとさん手作りの梅ジュース。梅は庭から収穫している。

若者、子ども連れのお母さん、スベイン人のジュエリー作家、母国のおい

しいハーブティーを持ってきたトルコ人、ビレッジにはいろんな人がやって来る。

静かに一人の時間を過ごすのに適した場所だが、人との縁が広がる場所でもある。私が作ったらしを読んで、原葬のことを考えるようになってくれた人、STOPI!浜岡原発のエコバッグとTシャツを買ってくれた人。私の説原葬活動は、ビレッジを通して少しずつ広がっている。

「ビレッジは雑貨カフェで人とモノが出会う場所なのだけれど、人とモノを通して人と人とを繋げていくのが私のお役目なのかなあと思う」と、ちさとさんは静かに話してくれた。



### data

雑貨・カフェ Village (ビレッジ)

〒436-0222 静岡県掛川市下草木303-1 TEL / 0537-23-3799

営業時間 / 11:00-18:00 定休日 / 不定休

アクセス / 川原川駅から北極環バスにて掛川北側地下車徒歩約15分  
掛川駅から車で約15分